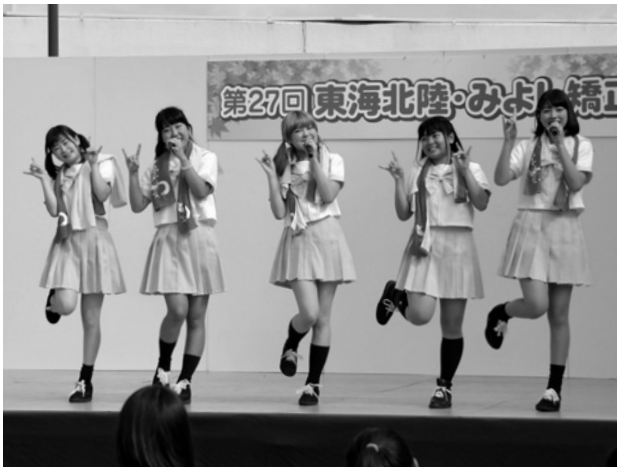
まちの話題

Machi no Wadai

市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp



地域に支えられた矯正を

第27回東海北陸・みよし矯正展

10月17日と18日の2日間、「地域に支えられた矯正」をテーマに、名古屋刑務所で第27回東海北陸・みよし矯正展が行われました。市内外から大勢の人が訪れ、入場口前には開場前から長蛇の列ができるほどの盛況ぶり。会場内には全国の刑務所の受刑者によって作られた家具や雑貨などの展示即売会のコーナーや七宝（しっぽう）焼きの絵付け、組みひも作りなどの刑務作業の体験コーナーをはじめ、屋外ステージでは、三好いいじゃんおどり普及会「ODORI MAX!（オドリ マックス）」やみよしPR隊「ピンクフォックス」による踊りや歌が披露されるなど、さまざまな催しが行われ、来場者たちは思い思いに楽しんでいる様子でした。家族連れで訪れていた男性の一人は「今年も楽しみにしていました。刑務作業の体験コーナーでは、つい夢中になってしまいますね」と笑顔で話していました。

魚の魅力再発見！

消費生活講演会

食育について学んでもらうとともに、魚の魅力をあらためて知ってもらおうと10月15日、中部水産株式会社の神谷友成（かみやともなり）さんを講師に招き、市役所で「魚の魅力再発見!」をテーマとした消費生活講演会が行われ、市内から39人が参加しました。神谷さんは「おさかなマイスター」として普段から魚食普及や食育活動に積極的に取り組んでおり、この日は国産品と輸入品の魚には違いがあり、違いを知った上で選択することが大切であると説明すると参加者たちは熱心にメモを取りながら聞いていました。また、実際ににぼしを解剖しながら構造や美味しいだしのとり方や、製法の違う2つのかまぼこを食べ比べたり、実際に切ったときの手応えを比べてみたりすると、参加者たちは驚いた様子で違いを実感していました。

みんなで楽しくスポーツを

三好さんさんフェスティバル

家族や友達と一緒にスポーツを楽しんでもらおうと10月18日、明越会館や南中学校などを会場に三好さんさんフェスティバルが開催されました。総合型地域スポーツクラブ「三好さんさんスポーツクラブ」の主催により行われたこの催しに、市内からおよそ300人が参加。カローリングやソフトバレーボール、サッカーなどの他、今年は100個の玉を全てかごに入れるまでの時間を競う玉入れの種目「アジャタ」を新たに加えた8種目が行われ、参加者たちはそれぞれの競技を楽しんでいました。また、お昼にはカレーライスが振る舞われ、参加者たちは運動後の空腹を存分に満たしていました。その後、明越会館前の芝生広場でフラダンスやヒップホップダンスの発表が行われると、会場は拍手や声援で沸き上がりました。

働くことを学ぶ

弟子入り体験学習（三吉小学校）

10月22日、三吉小学校6年生の児童たちの弟子入り体験学習が行われました。この弟子入り体験学習は、市内およそ30の事業所の協力の下毎年行われ、市役所広報課には可児（かに）ななかさんと鬼頭一誠（きとういっせい）くんが弟子入りをしました。初めに、広報課の職員から仕事についての説明を聞き、実際に取材で使用する一眼レフカメラを手に取るとその重さや大きさにびっくり。写真の撮り方や取材するときのポイントなどを学んだ後、同じく中央図書館に弟子入り体験をしている同級生たちを実際に取材。この体験を終えて、可児さんは「カメラが重かったけど、上手に写真が撮れて嬉しかったです」また、鬼頭くんは「インタビューで聞いた事を、うまく文章にするのが難しかったです」と話していました。

たくさん採れたよ

芋掘り会

収穫の喜びと食べ物の大切さを知ってもらおうと10月23日、莇生町地内の畑で芋掘り会が行われました。みよし市農業振興クラブの協力の下、毎年行われているこの催しに、市内の天王・打越・みどり・莇生・城山・黒笹保育園と三好文化・三好桃山幼稚園の8園の年長園児たちが参加。5月末に園児たちが苗を植え、およそ5カ月で大きく立派に成長したサツマイモを前に大興奮。初めに、サツマイモの掘り方を教わった後、早速芋掘りを開始。園児たちは自分の顔よりも大きいものや何個もつながったサツマイモを掘りあてるたびに「変わった形の芋があるね」「こっちにもたくさん埋まってるよ」など、歓声を上げていました。参加した園児の一人は「大きい芋がたくさん採れたよ」と両腕に抱えたサツマイモを見せながらうれしそうに話していました。

血のにじむ努力の先に

第9回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会出場選手激励会

11月14日･15日の2日間、東京都の国立代々木競技場で開催される、第9回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会に出場する選手の激励会が10月21日、市役所で行われました。七州会三好道場に所属する、礒村陸選手、中嶋桜太選手、高根連龍選手、武井誠吾選手、礒村玲名選手の5人が小野田賢治市長に大会への出場報告をすると、小野田市長は「試合の中で、たくさんの課題を見つけて今後の成長につなげてほしいと思います。頑張ってください」と激励。今大会で4大会連続出場となる礒村陸選手は「良い成績が残せるよう、一試合一試合に、集中して全力で取り組んできます」と大会に向けての意気込みを話しました。

大規模地震に備えて

サンアート 避難訓練コンサート

劇場でのコンサート中に万が一地震が発生した場合、どのように避難するのかを実際に体験してもらおうと10月21日、サンアートで避難訓練コンサートが行われました。愛知県警察音楽隊や、愛知県警察音楽隊所属のカラーガード隊「フレッシュアイリス」の協力の下、初めて開催され、市内外からおよそ270人が参加。初めに、避難するときに気を付けるポイントが説明されると、参加者たちは真剣な表情で聞いていました。その後、愛知県警察音楽隊による演奏が始まると、2曲目の序盤で地震が発生したと想定して訓練開始。参加者たちはシェイクアウト姿勢をとり、揺れが収まってから係員の誘導に従って避難をし、およそ2分半でスムーズに避難を終えることができました。避難訓練後は、演奏と演技を存分に楽しんでいました。